

若竹

第七十八号



愛媛県神道青年会
再発足50周年奉告祭

愛媛県神道青年会

事務局 〒793-8555

愛媛県西条市西田甲797 石鎚神社 内

TEL 0897-55-4044 FAX 0897-55-7242

URL <https://www.ehimeshinsei.net/>



愛媛県神道青年会

検索



巻頭言

新年度の御挨拶

愛媛県神道青年会

会長

田窪 たくほ大朗 ともあき

先ず以って聖寿の万歳と皇室の弥栄をお祝い申し上げますと共に、愛媛県内各社の弥々の御隆昌を御祈念申し上げます。

さて、早いもので一年の半分が過ぎました。七月です。毎日暑い日が続いておりませんが、皆様いかがお過ごしでしょうか。私は昭和五十七年の生まれです。今年の十一月で四十歳になります。「歳を重ねると一年が早く感じてくるよ」という声がわかるような気がしている今日この頃です。

扱、当会は再発足五十周年の佳節に伴い五月十八日に愛媛県神社庁にて、神社庁役員・歴代会長を御来賓としてお迎えし、会長の私が齋主、以下祭員七名・伶人三名の奉仕により、奉告祭を齋行いたしました。世情もあり、感染者が増えれば会員のみでの齋行も覚悟をしておりますが、有難いことに参集しての実施が叶いました。先輩方にも久々にお会いすることもでき、「お久しぶりです・お元気でしたか・今日はありがとうございます」という言葉やお姿に懐かしみを覚えると同時に、コロナ禍で失われた人との繋がりや関りの大切さを身に染みて実感し、改めて役員会員との出会いをこれから大事にしないといけないと感じた次第です。

コロナ禍が収束しない中で、神青について自身で色々見つめ直すことがありました。何を以て何を成すべきなのか。神青は例えば「神道青年会・青年神職会・神道振興会・むすび会・青年協議会」の様に名前は地域によって違いますが、等しく若手の会が各都道府県に存在し、また十地区の協議会と神道青年全国協議会で組織されます。ここで大事にすべきことは、我々は事業をすることに目的を置かず、「神社界をより良いものにしたいたい・日本の国柄をより良いものにしたいたい」という目的を忘れてはいけないのではないのか。それを達成するために、

例えば神道教化が必要なのか、研修会なのか、親睦会なのか、青少年育成事業なのか、英霊顕彰なのか、それらのアプローチやアイデア・発想が事業になります。従って、事業を実施するその先には必ずその目的があり、また、我々の事業が何を以て目的を達成できるのか、果たしてその事業がどれだけそれに貢献できるのか、改めてその基本的なところを忘れずに、企画の段階からしっかりと見つめながら活動することで、青年会の意義が見出されるのではと感じています。

先ほども申し上げましたが、今年で再発足五十周年を迎えます。なぜ青年会が全国に存在するのか。今を生きる若手神職が、今神社界を取り巻く社会環境に敏感な青年神職が、今成すべきことを若手のフットワークを生かして走る。ここに青年会の役割が詰まっています。その様に積み重ねて来て今の五十年という歴史があります。今期の任期も一年を切りましたが、目的達成のために、今やるべきことを着実に歩んで参りたいと思います。

今後とも皆様方の御指導と御鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。

50周年の節目を共に歩んでいきましょう。

新年研修会



【報告者】
愛媛県神道青年会 会員
松山市 正八幡神社
権欄宜 権名津幾江

令和四年二月九日(水)、四国最西端に位置する佐田岬において、新年研修会(先の大戦の傷跡について学ぶ)が開催されました。今回、講師としてお迎えしました高嶋賢二先生は、伊方町の町見郷土館の学芸員として、町の歴史や文化や自然・産業といった様々な分野において地域の特性を調査研究し、資料の収集や保管を行い、それに関連した企画展や講演会、見学会を実施されるというご活躍で、奉務神社とその地の伝統や歴史・文化を祭祀と共に守りしている我々神職にとっても、学べることが多いのではという思いで参加しました。



橋がありました。海峡の反対側に作られ、山を越えて敵の艦船を砲撃するために作られたという砲台は、現在は跡地のみ残っていました。当時の様子を知ることができました。棧橋は現存し、その作りの頑丈さからは、大量の資材が運び込まれていたことが想像できました。

次に向かったのは御籠島です。灯台の駐車場に車を止め、灯台の先にある島へ徒歩で向かいました。途中、山の木々に埋もれた当時の観測所や、移動式探照灯格納庫跡、展望台などにも立ち寄りましたが、その長く勾配の激しい道のりに、息が上がつてしまいました。

やっとの思いで着いた御籠島には、岩盤をくり抜いた素掘りの洞窟があり、その長い洞窟を進むと砲台跡にたどり着きました。当時の砲台は残っておらず、レプリカが置かれていました。

発砲時の衝撃に耐えられるよう、洞窟の天井や壁は頑丈に補強されており、実際に



向けた覚悟のようなものを感じ取ることができました。狭く暗い洞窟の中に立ち、外に広がる美しい海と浮かぶ島々を見渡すと、本土決戦が迫った緊張や恐怖はどれほどであっただろうと、胸の奥が鈍く傷みました。

研修を終えた晴れやかな気持ちと胸の痛みと、どちらも抱えて皆で記念撮影をしました。平和であることに感謝し、笑顔で。高嶋先生の「伝えたい」という思いのこもったお話に、我々神職も、自分たちができることは何だろうか、考えが深まった研修会であったと思います。誠にありがとうございました。



歴史と自然を同時に学ぶ研修でした。

「デザイン思考と
情報発信を学ぶ」
ウェブ研修会 研修二



【報告者】
愛媛県神道青年会 監事
松山市 巖島神社
欄 宜 柳原 永祥

十一月九日・十一日と研修歴のつくウェブ研修に出席し、全国各地より約百九十名の青年神職が研修会を受講しました。

この研修は、コロナ禍でも多くの方が受講できるよう十八時半からZoomを利用して二日に分けて行われ、仕事終わりなどでも参加できるように工夫されていました。

講師には、(株)エイトブランディングデザイン・代表の西澤明洋先生をお招きの上「超実践！神社のブランディングのはじめかた」と題し、自社をブランディングするにあたっての考え方を理論的に学びました。また、実際携わった神社の事例を基に、より具体的にブランディングについてご教授いただきました。

二日目は、パネリストとして、和布刈神

社の高瀬欄宜によるパネルディスカッションでした。
実家である和布刈神社へ帰ったときは兼業神主で、神社は正月以外無人の状態から十年も経たないうちに職員が雇えるようになった経緯を教えてくださいました。



専門神主になることを決め、少しずつ収入を増やしコンサルタントを入れ、二十種類以上あったお守りは一種類へ。授与所の形も大きく変わりました。



次に全国の青年神職五名による公開ブランディングを行われ、全国様々を取り組み、先生から具体的な解決策や考え方を見聞することで自社への活用方法を考えさせられる素晴らしい研修となりました。
西澤明洋先生はYouTubeにてブランディングの情報を配信していますので、興味ある方はご覧ください。

今の神社をさらに魅力的に！

令和三年度
**神道青年全国協議会
 中央研修会(新潟)**



【報告者】
 愛媛県神道青年会 監事
 松山市 伊佐爾波神社
 禰宜 野口 貴令

三月九、十日の日程で新潟市音楽文化会館に於いて平成三十一年以来三年ぶりと
 なる中央研修会が開催されました。
 まん延防止等重点措置の延長もあって、
 現地とウェブでのハイブリッド開催になり



ましたが、当会からは田窪会長、柳原監事、野口監事の三名が現地参加致しました。
 今回の主題は「発信力×郷土を愛してやまない若者たちへ」で、第一講はフラー株式会社 渋谷 修太先生よりデジタル化が進む中、神社会がどのように対応していくのか、第二講は衆議院議員 稲田 朋美先生より、正しい歴史認識や法整備について、第三講はNSGグループ 池田 弘先生より知識と共に実践していくこと、発信していくことで地域の発展、更には日本の繁栄を目指す事が出来ることと講義頂きました。



池田 弘先生



渋谷 修太先生



稲田 朋美先生

コロナ禍での開催でしたので懇親会も無く、従来の中央研修会とは些か趣の違う研修会でしたが、まん延防止等重点措置が数日前まで開催地で発令されていた

状況下であっても感染症対策を万全とし、開催出来たことで来たる令和五年三月八、九日の四国地区・徳島での中央研修会もほぼ開催される見通しになったと思っております、四国は一つの合い言葉の下、おもてなしの心を持って全国からの青年会会員を迎える事が出来るよう準備を進めていかなければならないと、四国地区役員一同再認識を致しました。徳島県開催の折には愛媛県会員の皆様も一人でも多く参加されるようお願い致します。



時代の流れに乗り遅れないように知識を深めましょう。

神道青年全国協議会 第七十三回定例総会



【報告者】
愛媛県神道青年会 監事
松山市 巖島神社
柳原 永祥

四月二十六日、
神社本庁大講堂に
て第七十三回定例
総会がウエブを併
用したハイブリッ
ド形式にて開催さ
れました。

コロナ禍の社会
情勢を鑑み、昨年
と同様にウエブを併
用して行い、役員・
代議員百二十五名
が出席する中、愛媛からは田窪会長と私が
現地、曾我部事務局長がウエブ出席し、全
議案が承認されました。ウエブでの会議が
続いていましたので、今期になって一年が
経ちましたが、ようやく神社本庁での会議
に出席できました。



定例総会后、役員と
現地参集した代議員は
明治神宮に正式参拝を
行い、私は神青協副広
報委員長として撮影に
追われました。本庁か
ら明治神宮の神楽殿ま
で参進していくのを
走って先回りして撮影
し、追い越されては走
りというのを繰り返し、神楽殿に到着した
ころには筋トレの後のように膝がガクガク
していました。

また、学生時代に明
治神宮の研修生をして
いたこともあり、面識
のある神職さんとも多
数お会いすることがで
き、楽しい時間を過ご
すことができました。
久しぶりの東京は人
が多く、電車に乗れば
満員に近い状態で、マスクをしているだけ
で、コロナ前に戻っているような印象を受
けました。神青活動もコロナの影響を受け
て中止や縮小した事業も多かったですが、
これから徐々に再開していきますので、ど
うぞ多くのご参加をお待ちしています。



神道青年全国協議会 第73回定例総会 令和4年4月26日 於 明治神宮

ウィズコロナに向けて節目の年になりそうです。

令和三年度 会務報告

令和三年

起 令和三年 四月 一日
至 令和四年 三月三十一日

四月 七日

令和二年度会計監査会
(柳原前会長以下五名出席)

【松山市・厳島神社】

四月 二十七日

神道青年四国地区協議会

第一回 役員会

五月 一日

(田窪会長以下四名出席)

五月 二十七日

第一回 役員会
(田窪会長以下九名出席)

五月 二十七日

第二回 役員会
(田窪会長以下九名出席)

五月 二十七日

第二回 役員会
(田窪会長以下九名出席)

五月 二十七日

第五十回定時総会
(田窪会長以下十五名出席)

六月 五日

(田窪会長以下十五名出席)

六月 十七日

神道青年四国地区協議会

第二回 役員会並びに役員研修会

演題「過疎化地域の教化活動」

講師 野村卓秀 先生

第三回 役員会

(田窪会長以下九名出席)

会報「若竹・第七十六号」発刊

神道青年四国地区協議会

総会並びに研修会

演題「疫病と神々への祈り」

講師 別役重具 先生

第四回 役員会

(田窪会長以下九名出席)

神道青年全国協議会

令和三年度 夏期セミナー

愛媛県神道青年会再発足五十周年記念事業移動社務所引取り

(井上副会長出席)

第五回 役員会

(田窪会長以下九名出席)

【高知県・セリーズ】

【ウェブ開催】

【ウェブ開催】

【宮崎県日南市】

【ウェブ開催】

【ウェブ開催】

【ウェブ開催】

【ウェブ開催】

八月 八日

神道青年四国地区協議会

第四回役員会並びにウェブ研修会

演題「あなたの知らない神職の魅力」

講師 四国各県より一名

コーディネーター 浜田規史氏

参拝啓発ポスター発送作業

(井上副会長以下六名出席)

第六回 役員会

(田窪会長以下八名出席)

神道青年四国地区協議会

第五回役員会

ウェブ研修会・懇親会

演題「ウェブで出来る祭りに役立つトレーニング」

講師 櫻木 崇浩先生

第七回 役員会

(田窪会長以下八名出席)

グループウェア「サークルスクエア」利用開始

【湯神社・ウェブ開催】

【ウェブ開催】

【ウェブ開催】

【ウェブ開催】

【ウェブ開催】

【ウェブ開催】

【ウェブ開催】

【ウェブ開催】

【ウェブ開催】

【ウェブ開催】

【ウェブ開催】

【ウェブ開催】

【ウェブ開催】

【ウェブ開催】

【ウェブ開催】

【ウェブ開催】

【ウェブ開催】

【ウェブ開催】

【ウェブ開催】

【ウェブ開催】

【ウェブ開催】

【ウェブ開催】

【ウェブ開催】

【ウェブ開催】

【ウェブ開催】

皆様方に御協力を賜り会務が遂行出来ましたことに深謝致します

会長 田窪 大朗

各事業にご協力下さいました皆様ありがとうございました。

愛媛県神道青年会 令和三年度一般会計歳入歳出決算書

自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日

歳入の部

単位：円

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減(△減)	付 記
1 会 費	450,000	304,000	△ 146,000	年会費・新型コロナウイルスの影響で事業がWeb開催や中止した為
2 助成金	200,000	200,000	0	愛媛県神社庁より
3 寄付金	1,211,000	1,395,000	184,000	県内支部・神社・神職寄付金
4 雑収入	390,678	3,000	△ 387,678	中央研修会参加費払戻
5 繰越金	748,322	748,322	0	令和2年度より
歳入合計	3,000,000	2,650,322	△ 349,678	

歳出の部

単位：円

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減(△減)	付 記
1 会議費	150,000	64,245	△ 85,755	グループウェア契約料・zoom契約料
2 研修教化	300,000	37,739	△ 262,261	研修会費・研修会参加費
3 事業費	1,050,000	956,680	△ 93,320	参拝啓発ポスター頒布事業・移動社務所実装事業・災害用備品購入
4 広報費	370,000	313,456	△ 56,544	若竹76号/77号作製費及び発送費・HP管理費
5 事務費	160,000	154,043	△ 5,957	事務用品・寄付金その他振替手数料
6 備品費	10,000	0	△ 10,000	
7 交通費	500,000	284,000	△ 216,000	神青協定例総会・神青協出向役員旅費補助・会長手当
8 慶弔費	80,000	0	△ 80,000	慶弔金・電報代
9 分担費	300,000	279,000	△ 21,000	神青協及び地区協賛出金・各種友好団体年会費
10 雑支出	70,000	0	△ 70,000	
11 予備費	10,000	0	△ 10,000	
歳出合計	3,000,000	2,089,163	△ 910,837	

歳入合計 ￥2,650,322 歳出合計 ￥2,089,163 差引残高 ￥561,159

愛媛県神道青年会 会長 田窪大朗 提出

令和4年4月7日

愛媛県神道青年会 令和三年度特別会計(基金)

項目	金額	付 記
通常貯金	2,447,432	令和二年度繰越金
繰入金	17	利子
合計	2,447,449	

単位：円

愛媛県神道青年会

会長 田窪大朗 提出

令和4年4月7日

愛媛県神道青年会 令和四年度一般会計歳入歳出予算書

自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日

歳入の部

単位：円

項目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△減)	付 記
1 会 費	450,000	450,000	0	年会費
2 助成金	200,000	200,000	0	愛媛県神社庁より
3 寄付金	1,211,000	1,422,000	211,000	県内支部・神社・神職寄付金
4 雑収入	390,678	16,841	△ 373,837	特別会計より
5 繰越金	748,322	561,159	△ 187,163	令和三年度より
歳入合計	3,000,000	2,650,000	△ 350,000	

歳出の部

単位：円

項目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△減)	付 記
1 会議費	150,000	150,000	0	グループウェア契約料・zoom契約料
2 研修教化	300,000	300,000	0	三島森田研修関連・Web研修会・神楽関係
3 事業費	1,050,000	300,000	△ 750,000	参拝啓発ポスター頒布事業
4 広報費	370,000	770,000	400,000	若竹78号/79号作製費及び発送費・HP管理費
5 事務費	160,000	160,000	0	事務用品・寄付金その他振替手数料
6 備品費	10,000	10,000	0	
7 交通費	500,000	500,000	0	神青協定例総会・神青協出向役員旅費補助・会長手当
8 慶弔費	80,000	80,000	0	慶弔金・電報代
9 分担費	300,000	300,000	0	神青協及び地区協賛出金・各種友好団体年会費
10 雑支出	70,000	70,000	0	特別会計入金
11 予備費	10,000	10,000	0	
歳出合計	3,000,000	2,650,000	△ 350,000	

歳入合計 ￥2,650,000 歳出合計 ￥2,650,000 差引残高 ￥0

愛媛県神道青年会 会長 田窪大朗 提出

令和4年5月18日

諸先輩方の御協力に感謝申し上げます。

令和四年度 活動計画

四月	一日	第一回 役員会	【ウエブ開催】
	七日	令和三年度会計監査会	【松山市・厳島神社】
	二十日	神道青年四国地区協議会	
		第一回 役員会	【徳島県神社庁】
五月	七日	第二回 役員会	【ウエブ開催】
	十八日	愛媛県神道青年会再発足五十周年奉告祭	
		第五十一回定時総会	【愛媛県神社庁】
六月	八日	神道青年四国地区協議会	
		第二回 役員会	
		定例総会並びに役員研修会【香川県・高松国際ホテル】	【全】
		第三回 役員会	【全】
七月	一日	会報「若竹・第七十八号」発刊	
		第四回 役員会	【未定】
八月	三十	神道青年全国協議会	
	三十一日	令和四年度 夏期セミナー	【ウエブ開催】
九月	十二日	神道青年四国地区協議会	
		第二十二回神道行法錬成会	【徳島県・鳴門グランドホテル海月】
	十三日	神道青年四国地区協議会	
		第二回 役員会	【全】
		参拝啓発ポスター発送作業	
		第五回 役員会	【愛媛県神社庁】

十月		第六回 役員会	【未定】
十一月		第七回 役員会	【未定】
十二月	八日	神道青年四国地区協議会	
		親睦事業・顧問会	【愛媛県・炎の里、助格】
		第三回 役員会	【未定】
一月	一日	会報「若竹・第七十九号」発刊	
		第八回 役員会	【未定】
二月		第九回 役員会	【未定】
三月		第十回 役員会	【未定】
三月	八日	神道青年全国協議会	
	九日	令和四年度 中央研修会	【徳島県】
四月	予定	愛媛県神道青年会再発足五十周年記念式典	【ANAクラウンプラザホテル松山】
		*（日時未定）	
		慰問神楽	
		第三十七回観月神楽	
		会員親睦研修会・交流会	
		移動社務所実証事業	
		*時局問題への即応	
		●その他、日程等は役員会にて議案審議	

太字が愛媛県神道青年会の活動です。
愈々50周年の節目となりました。

再発足五十周年奉告祭



【報告者】
愛媛県神道青年会 会員
西条市 石岡神社
欄 宜 越智 仁美

去る五月十八日(水)午後一時より愛媛県神社庁の神殿に於いて、愛媛県神道青年会再発足五十周年奉告祭が執り行われました。

未だに衰えを見せない新型コロナウイルス感染症が蔓延する最中ではありませんでしたが、愛媛県神社庁長の三輪田泰生様を始め、八名の臨席を賜り、田窪大朗会長を斎主として八名の祭員奉仕、三名の伶人奉仕の元、県内の神々に奉謝を捧げました。

今まで神道青年会に出席する機会がなかなか無かったのですが、今回五十周年という節目にお声がけて頂き、祭員として奉仕出来たこと大変嬉しく思います。この日の為に事前に何度か習礼を致しまして、初めてのことばかりで緊張はしておりますが、皆心一つにし、万全の体勢で奉仕す



ることができました。奉告祭終了後には斎主を務められた田窪会長から挨拶があり、田窪会長の想い、また先達の想いを次世代に繋げるべく、今後とも神道青年会の一員として微力ながらも活動に参加していきたいと思



観月神楽開催希望神社 募集について

本年度の開催希望神社を募集しております。開催に際しましては

*** 雅楽の演奏及び舞が可能な広さの場所**
(拝殿・舞台設営など)

*** 着替え場所**

*** 控室**(出演者が食事をする場所)

*** 駐車場**

*** チラシの作成**(開催神社にお願いしておりますが希望する場合は青年会で作成いたします)

地域の方に雅楽を親しみ、神社を身近に感じていただく非常に良い機会となります。式年祭など記念事業の一環としてもいかがでしょうか。未開催神社の応募をぜひお待ちしております。

右記をご確認のうえ、**七月二十日まで**に青年会事務局もしくは青年会役員までお願いいたします。

第五十一回定時総会報告



【報告者】
愛媛県神道青年会 新会員
松山市 饒 天満神社
欄 宜 大内 兵庫

去る五月十八日(水)午後三時より愛媛県神社庁に於いて田窪大朗会長以下十六名の会員出席のもと、愛媛県神道青年会第五十一回定時総会が開催されました。

井上雅仁副会長の挨拶の後、議長の選出が行われ、次いで令和三年度会務報告、同年度会計及び監査報告、令和四年度活動計画、同年度予算案の報告が行われました。



本年度の活動計画と予算案に関連して、質疑の際に愛媛県神道青年会再発足五十周年記念事業として、移動社務所実証事業、沖縄における遺骨収集、同会再発足五十周年記念式典における記念冊子の配布に

ついでの説明が行われました。そして全ての議案において参加者の異議なく承認され、総会は滞りなく進行し閉会となりました。

この度、私は本年度より愛媛県神道青年会の会員として所属させていただくこととなりました。神道青年会の活動は今回が初めての参加となり、神道青年会の様々な活動を知る良いきっかけとなりました。



新型コロナウイルスの蔓延やウクライナ・ロシア間の情勢によって世界中が混乱を深め、先行きが不透明な中で思うように活動ができない状況も伺い知ることとなりました。移動式社務所実証事業やICTの活用など新しい形を取り入れた活動の様子や、憲法改正に関する勉強会の予定があることなど、神社界とそれを取り巻く社会情勢の複雑な変化に対応するための姿勢や試みが伝えられました。一日でも早く新型コロナウイルス感染症の沈静化と人々の生活を脅かす戦闘行為が終息することを祈り、状況を打開するためによりよく変化していくよう模索していくことが重要であり、新型コロナウイルス感染症の蔓延や社会情勢

への不安に関連して憲法改正への気運の高まりも感じ、困難な状況に対応できるように変化が求められてきていると考えます。

移動社務所展覧状況～♪



愛媛県神道青年会再発足五十周年という節目の年にあたり、井上副会長が挨拶で言われたように神道青年会の会員としてそれぞれ何ができるのか、どのような役割なのかを意識して行くことの重要性を考えさせられる機会となりました。



会長からのお言葉

2年振りの参集になり闊達な意見が飛び交う有意義な総会でした。

令和三年度 助成寄付御芳名

※順不同にて掲載させて頂いております

御助成

金 貳拾萬圓也

愛媛県神社庁 殿

御寄付

金 壹拾萬圓也

石鎚神社

武智 正人 殿

金 参萬圓也

吹揚神社

田窪 大朗 殿

神社庁

一宮神社

新居 支部 殿

金 壹萬伍仟圓也

石岡神社

矢野 有紀 殿

金 壹萬圓也

諸山積大明神社

越智 基晃 殿

磐座八幡大神社

三島神社

藤原 正直 殿

三嶋神社

橘新宮神社

藤原 修次 殿

玉生八幡神社

村山神社

馬越 晴通 殿

高尾神社

嘉母神社

越智 静治 殿

荒木八幡大神

松本 恒夫 殿

千足神社

鳥谷 康恵 殿

大西神社

矢野 秀綱 殿

奈良原神社

竹之内紀久江 殿

須賀神社

及川 徹也 殿

保内八幡神社

中島佳代子 殿

熊野三所神社

藤原 豁博 殿

賀茂神社

上甲 一則 殿

周敷神社

熊本 和仁 殿

石土神社

長 敏康 殿

熊野神社

井上 初美 殿

德威神社

桐野 正信 殿

高浜八幡神社

田邊 捷 殿

濱上神社

荏田 孝弘 殿

八幡神社

龜山 和磨 殿

瀧神社

近藤 晃司 殿

原八幡大神社

福田 友徳 殿

鉾前神社

矢野 哲夫 殿

三島神社

大西 元宣 殿

八幡神社

竹内 啓 殿

堀江神社

菅田 千里 殿

伊豫豆比古命神社

長嘗我部昭一郎 殿

網敷天満神社

高田 康成 殿

金 参萬參仟圓也

米家 敬史 殿

別宮大山祇神社

森 正康 殿

金 壹拾萬圓也

額田 照彦 殿

綾延神社

矢野 一雄 殿

神社庁

松山 支部 殿

土居神社

浅海 宜英 殿

嚴島神社

柳原 宰 殿

潮早神社

佐藤 伸吉 殿

日招八幡大神社

玉井 正保 殿

今宮神社

田窪 祥穂 殿

金 壹萬圓也

石丸 剛司 殿

喜多浦八幡大神社

馬越 祥穂 殿

桑原八幡神社

大内 正人 殿

白山神社

大岡 忠臣 殿

三嶋大明神社

大宮 信篤 殿

多伎神社

沼崎 守文 殿

忽那島八幡宮

大宮 信篤 殿

三島神社

垂水 晋介 殿

合田 正士 殿

大宮 信篤 殿

金 伍仟圓也

合田 正士 殿

安藤 史典 殿

大宮 信篤 殿

金生八幡宮

安藤 史典 殿

八幡大神社

大宮 信篤 殿

橘八幡大神社

馬越 將文 殿

日尾八幡神社	三輪田 純 殿
勝岡八幡神社	武智 国吏 殿
三島神社	高市 誠 殿
金刀比羅神社	山下 幸志 殿
還熊八幡神社	玉井 次明 殿
金刀比羅神社	大谷 伸二 殿
井手神社	横田 朱美 殿
國津比古命神社	井上 忠史 殿
波賀部神社	武智 彰宏 殿
雄郡神社	高市 誠司 殿
伊豫稻荷神社	星野 暢廣 殿
客王神社	二神 良昌 殿
東雲神社	田内 逸知 殿
生石八幡神社	中西 祐司 殿
高忍日賣神社	後藤 正宜 殿
金: 伍阡圓也	
德威三嶋宮	別府 頼房 殿
高家八幡神社	都子野 清明 殿
諸山積神社	武智 佳子 殿
天満神社	武智 成保 殿
阿沼美神社	大内 將通 殿
三島神社	高市 俊次 殿
櫛玉比賣命神社	井上 貞人 殿
三島神社	玉井 貞臣 殿
伊曾能神社	武市 盛幸 殿
八幡神社	桑原 浅雄 殿
正八幡神社	権名津 卓久 殿

廣田神社	武智 盛明 殿
五柱神社	森 東洋司 殿
八坂神社	都築 芳憲 殿
廣瀬神社	都築 芳憲 殿
新田神社	都築 芳憲 殿
新田八幡神社	都築 芳憲 殿
素鷲神社	水地 明彦 殿
三島神社	渡邊 一 殿
金: 參阡圓也	
天満神社	新藤 昭重 殿
三島神社	芥川 幹 殿
金: 七萬圓也	
和靈神社	三輪田 泰生 殿
八幡神社	清家 貞宏 殿
八幡神社	常磐井 守道 殿
神社庁	八西支部八幡浜分會 殿
金: 壹萬圓也	
宇和海地区神社	宮本 勝弘 殿
神社庁	南宇和郡支部 殿
三島神社	吉田 充邦 殿
八幡神社	阿部 康茂 殿
総社大明神社	森本 隆夫 殿
三柱神社	梅川 俊一 殿
八幡神社	是沢 邦久 殿

三島神社	一宮 康人 殿
天満神社	常磐井 守興 殿
三嶋神社	和氣 利雄 殿
黄幡神社	青木 武司 殿
金: 伍阡圓也	
満穂神社	岡本 二郎 殿
春日神社	宮田 昭 殿
宇都宮神社	伊達 享朝 殿
太郎大明神社	佐々木 文雄 殿
三島神社	三瀬 高德 殿
三島神社	入江 伸明 殿
大元神社	井上 正博 殿
由良神社	赤松 千明 殿
岡森神社	寺谷 秀彦 殿
金: 參阡圓也	
三島神社	横山 和郎 殿
三島神社	横田 武敏 殿
金: 貳阡圓也	
湯嶋天神社	菊池 國興 殿

御賛同の上御寄付を賜り深謝致します
 会長 田窪 大朗

青年会活動に御理解戴き、過分なる御厚意を頂戴致しましたこと、
 重ねて厚く御礼申し上げます。 役員・会員一同

参議院選挙啓発



【報告者】
愛媛県神道青年会 理事
上浮穴郡 三島神社
宮司 佐藤 肇国

去る令和四年五月八日に伊豫豆比古命神社椿会館にて山谷えり子さんを支援する会が開催されました。

午後からの開催であり午前中は会場設営を致しました。午後一時より開式し、愛媛県神社庁々々長三輪田泰生様、神道政治連盟愛媛県本部長長曾我部昭一郎様、参議院議員山本順三様、数々の政治に関わりのある方の挨拶の後、約四十分程度お話をされました。



公演中の山谷氏

ご本人の話によると参議院議員に初当選された時の指針である「家族・教育・国なおし」を今も変わらず胸に持ち続けていらつしやいます。又、国家の安泰と御皇室の弥栄を第一に考え国政の場で活躍されています。国を守るために、今何を考え、成すべきか。一人の国民、母として誠実に活動されていらつしやる。そう感じました。その取り組みは、神道を志す私達の理念、大切にしている価値観と相通じるものがあるかと思ひます。



数多くの方が来られました

参議院議員選挙について、多くの名前を得た議員より当選されます。投票の際には〇〇党ではなく、しっかりと名前を明記の上ご投票下さい。国政に関わりになられます方々には希望と勇気と元気を与えて頂けることを期待しております。



皆さんと一心同体

《令和四年度予定選挙》

- ・ 参議院議員選挙
- ・ 愛媛県知事選挙

忘れずに投票しましょう！

7月10日の参議院選挙は必ず投票に行きましょう！

沖繩本土復帰 五十周年記念日 国土平安祈願祭



【報告者】
愛媛県神道青年会 理事
今治市 網敷天満神社
宮司 菅 利之

令和四年五月十五日、神道青年全国協議会主催の沖繩本土復帰五十周年記念日国土平安祈願祭が全国会員奉務神社にて執り行われました。私の奉務神社でも参列者一名の小規模ではありましたが、日本という国を愛し己を顧みず戦火の犠牲となった尊い御霊を慰めるため至誠の心を捧げ奉仕いたしました。

沖繩では令和四年三月末時点の発表でも遺骨が発見され続けており、収集対象数から見た未収骨数は未だ二千七百六十八柱にも上るといふことです。これほど多くの未収骨が存在していることも沖繩での戦死者の多



さ、戦いの凄惨さを物語っています。新しい遺骨が発見される度に愛する家族を探し求めて問い合わせる戦没者の家族は絶えることがないそうです。戦争は多くの命を奪うばかりでなく、生き残った者が大切な人を葬ることのできない虚しさや悲しみを抱え続け、これほどの時を経てなお癒えることのない深い傷跡を残しているのです。しかし、どれだけの日本人が戦争という人類の課題に真剣に向き合っているでしょうか。現代日本人にとつての戦争は、自分には関係のない過去の出来事という意識になつていくように感じます。戦争経験者の高齢化や減少、さらに核家族化が世代間の交わりを奪い、貴重な戦争の実体験を聞く機会は無くなりつつあります。身近な人物の体験談と文字では生々しさや現実感が格段に違います。例え課題ととらえ能動的に調べようとしても、その方法が発達したネットや溢れる無機質な情報ゆえに、余剰知識が得られず、関心が広がる機会が奪われているように思います。そのため、戦争というものを記録媒体で閲覧可能な一定知識以上には理解できなくなっているのではないのでしょうか。時間をかけ、足を運び、震える声や滲む涙、刻まれた皺の深さに、戦慄が全身に起こるような血の通った語り伝えを、残していかなければなりません。

私の身近でも、神社関係者以外では沖繩本土返還記念日に関する話題を取り上げる人はおられませんでした。沖繩返還五十周年にあたり、今一度過去に敬意を払うとともに、そこから学んだ平和への思いを次代へと繋げなくてはなりません。そうでなくては、戦争の認識はただの知識になつてしまつてしまうでしょう。高齢者をはじめ広い世代が集える神社にあって、担うべき役割を見つめ、教化活動へ結びつけていくてはならないと感じています。



各奉務神社から国土平安を祈念致しました。

神道青年四国地区協議会 第二十八回 定例総会・研修会



【報告者】
愛媛県神道青年会 事務局長
西条市 石鎚神社
権欄宜 曾我部洋輔

去る六月八日、香川県神道青年会主管のもと神道青年四国地区協議会第二十八回定例総会、研修会が香川県高松国際ホテルにて開催されました。当会からは田窪会長以下四名が参加しました。

当日、十二時四十分より開講式、集合写真を撮影した後、十三時三十分より定時総会が開かれ議事は円滑に進行されました。続いて「更なる祭祀の厳修の為に」の主題にて研修会が開かれました。第一講は國學院大學神道文化学部元兼任講師の後藤正明先生による「現代にいかす神社祭祀と有職故実」と題し講演を賜りました。神職にとつての祭祀、祭式の意義を改めて確認させて頂き、現在では天皇陛下が御大札、宮中での祭典にて使用されている束帯の着装を実演して頂きました。私たち神職は有職故実を実践しながら未来へ繋いでいる。正



式会社相談役の柳生好彦先生より「大切な『理念と経営』を磨き上げよ」と題し講演を賜りました。昭和六十年に会社を設立し、オリープを人々の健康に役立てる為日々奔

しい知識を正しく未来へ繋げるために、日々研鑽が大切であると話されました。

第二講は小豆島ヘルシーランド株式



走、代表取締役や土庄町議会議員を務めた後、平成三十年に峰惺富(オリープ)神社の権欄宜、奉賛会会長を拝命、神社と会社の両方に携わる先生は人との繋がりを大事にされてきましたが、氏子さんや周りの人から話を聞くことは大切であるが、最も大事なことは初志貫徹、自分の信念を貫くことで、良いことをしていれば経営、お金は後からついてくる。と強調されました。

研修会が終了後、閉講式にて参加者に修

講師の後藤先生は当会会員です。
有識故実の知識を深めていきたいです。

新入会員紹介

了証が授与され、次期当番県の当会田窪会長より挨拶がありました。
 神道青年会は各都道府県、地区、全国の単位で研修を行っています。自分の知らない世界や考え方に触れる機会であり、同世代から刺激を受けることもあります。社務等により参加が叶わないこともあります。時間が許すなら、是非参加してみてください。

伊豫豆比古命神社 権禰宜

木挽弘基

天満神社 禰宜

大内兵庫

鹿島神社 禰宜

平岡幸浩

新しく神職として入会された方たちです。一緒に愛媛県神道青年会を盛り上げていきましょう!!

青年会御卒業

定時総会に於いて、会則により卒会の年を迎えられました先輩方を御紹介致します。

飯積神社 権禰宜

石井嘉生

周敷神社 権禰宜

井上八尋

大亀八幡大神社 禰宜

矢野敬三

八幡神社 禰宜

福田広寿

三嶋神社 禰宜

和氣孝雄

一宮神社 禰宜

薬師神 光

当会の諸活躍に御尽力賜りまして誠に有り難うございました。会員一同感謝申し上げます。
 今後も尚一層の御指導と御鞭撻を賜ります様お願い申し上げますと共に益々の御活躍を御祈念申し上げます。

御成婚

伊佐爾波神社 禰宜

野口貴令 明日香

去る令和四年二月二十二日、伊佐爾波神社にて神前挙式を執り行いました。

夫婦で力を合わせて明るく家庭を築いて行きたいと思っております。

今後とも御指導御鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。



お二人の門出にお祝い申し上げます。

御案内

令和四年度 神道青年全国協議会夏期セミナー

主 題…意識改革
 ↳多様化する社会に適應するために
期 日…令和四年八月三十日(火・大安)
 ↳八月三十一日(水・赤口)
会 場…神社本庁二階大講堂
【所在地】東京都渋谷区代々木一-二

内 容…

第一日目
【第一講】 パネルディスカッション
 「女性らしさと現代の神社」
 モデレータ 高野 裕基 先生
 (皇学館大学文学部神道学科助教)
 パネリスト 高山 博子 先生
 (太宰府天満宮 権禰宣)
 パネリスト 石原和香子 先生
 (荘内神社 権禰宣)

【第二講】 演題「ミッション」 私たちの存在理由」
 講師 岩田 松雄 先生
 (元スターバックスコヒービージャパンCEO)

第二日目
【第三講】 演題「デジタル化に伴う 神社での対応を考へる」
 講師 浅山 雅司 先生
 (神社本庁総合研究所総合研究部長)

参加費…一名 金六千円

神道青年四国地区協議会 第二十二回神道行法錬成会

日 程…令和四年九月十二日(月・赤口)
会 場…鳴門グランドホテル 海月
【所在地】徳島県鳴門市鳴門町
 土佐泊浦大毛八二-八八

講 師…道彦 健島 章生 先生
 道彦 永元 金二 先生
持 参 品…白衣・白袴・白足袋・白鉢巻・
 白禪・草履・白タオル・
 「禊並びに神拝行事の葉」をお持ち
 の方はご持参下さい。筆記用具・
 その他研修に必要と思われるもの

駐車場50台 無料
宿泊者利用時間 15時〜10時



駐車場

大毛海岸

再発足五十周年記念事業

日 程…令和五年四月予定(詳細は未定)

神道青年四国地区協議会 親睦会並びに顧問会

日 程…令和四年十二月七日(水・赤口)
会 場…砥部町文化会館(役員会)
 砥部てびねり体験
 炎の里(親睦会)
 粘土を使用して
 砥部焼を体験
 助格三番町店
 (顧問会)



砥部焼



魅力あふれる事業がたくさんありますので是非ご参加下さい！